

# 年金トピック

2022年6月27日  
団体年金事業部

## 【確定給付企業年金 基金型】 令和4年3月末財政決算諸数値の集計結果のご報告

令和4年3月末にて財政検証を実施した、当社単独・総幹事受託団体のうち基金型（43団体）の財政決算時点における「時価ベース利回り」、「財政検証（継続基準、再計算の要否、非継続基準）」の集計結果を、速報としてまとめましたのでご報告させていただきます。

企業年金制度の財政運営・代議員会等にあたっての参考資料としてお役立てください。

なお、規約型も含めた「令和4年3月末財政決算諸数値」の集計結果につきましては、8月にご報告させていただく予定です。

（※）本資料では、2017年1月1日施行後の財政運営基準を「新基準」、施行前の財政運営基準を「旧基準」として  
います。

- 時価ベース利回りは2.33%。昨年度比減少するも集計対象基金の平均予定利率（2.1%）並み
- 結果として、前年度に引続き、全基金で継続基準はクリア（強制再計算該当なし）
- 積立比率の平均値は、継続基準で昨年度より若干の改善、非継続基準で昨年度と同水準

大項目	項目	当年度	前年度
時価ベース利回り		2.33% (▲6.46%)	8.79%
積立水準	継続基準	1.23 (+0.02)	1.21
	再計算要否判定	1.34 (+0.02)	1.32
	非継続基準	1.25 (±0.00)	1.25

## ＜集計対象＞

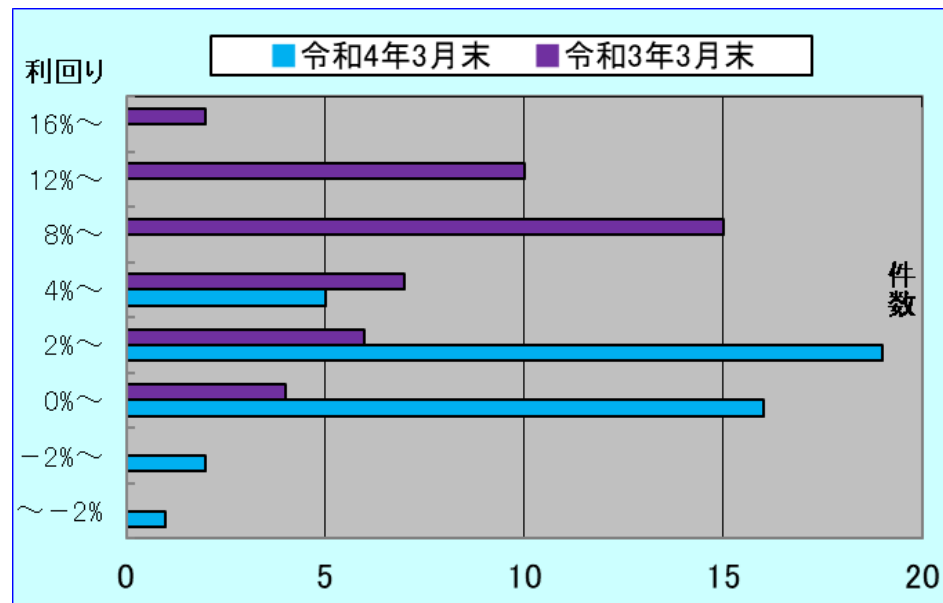
- 当社単独・総幹事受託団体のうち基金型（43団体）
- 財政決算時点における「時価ベース利回り」、「財政検証（継続基準、再計算の要否、非継続基準）」

# 1. 時価ベース利回り

基金型確定給付企業年金の令和4年3月末の財政決算における時価ベース利回りの水準は以下の通りです。

(単位：件)

	R4.3末	R3.3末
16%以上	0	2
12%以上16%未満	0	10
8%以上12%未満	0	15
4%以上8%未満	5	7
2%以上4%未満	19	6
0%以上2%未満	16	4
-2%以上0%未満	2	0
-2%未満	1	0
合計	43	44
平均	2.33%	8.79%



## 【ポイント】

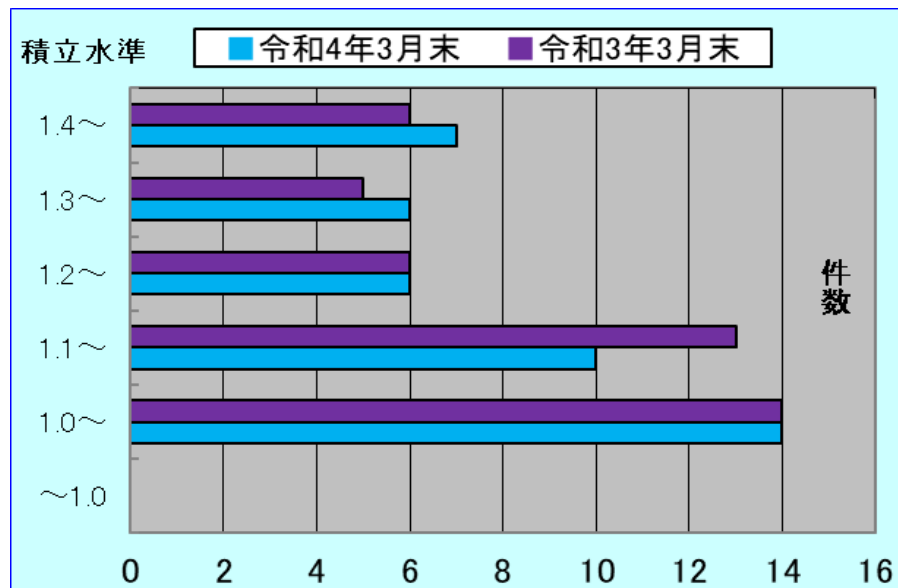
- 令和4年3月末での基金型確定給付企業年金の時価ベース利回りの平均は2.33%となりました。
- 前年度と比較して、平均は6.46ポイントの低下となりました。

## 2-1. 継続基準による財政検証

### (1) 継続基準の積立水準 = 純資産額 / 責任準備金

(単位：件)

	R4.3末	R3.3末
1.4以上	7	6
1.3以上1.4未満	6	5
1.2以上1.3未満	6	6
1.1以上1.2未満	10	13
1.0以上1.1未満	14	14
1.0未満	0	0
合計	43	44
平均	1.23	1.21



#### 【ポイント】

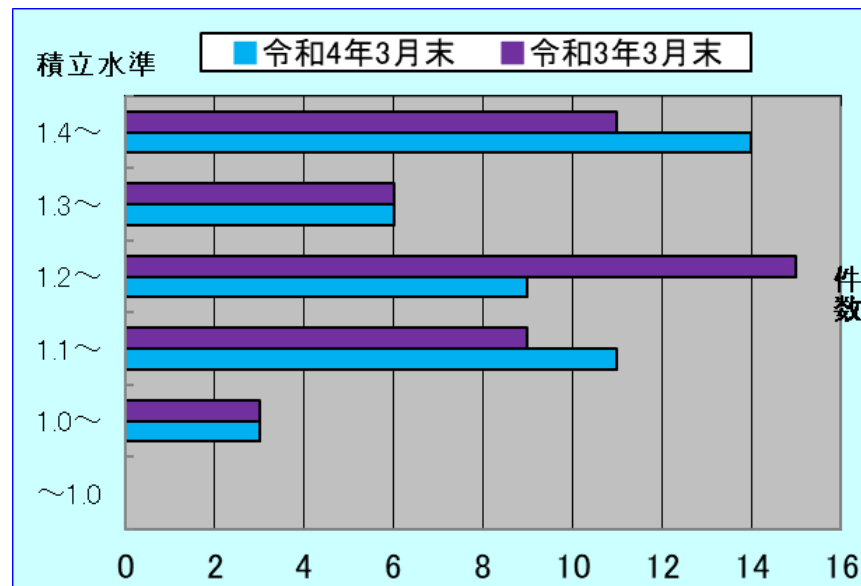
- 令和4年3月末で継続基準の積立水準が1.0を下回った基金型確定給付企業年金はありませんでした。
- 令和4年3月末での基金型確定給付企業年金の継続基準の積立水準の平均は1.23となり、前年度と比較して、0.02ポイントの増加となりました。
- なお、令和4年3月末時点で新基準に移行している基金型確定給付企業年金は37件（86%）です。

## 2-2. 再計算判定

(2)再計算の要否の積立水準 = (数理上資産額 + 許容繰越不足金) / 責任準備金

(単位：件)

	R4.3末	R3.3末
1.4以上	14	11
1.3以上1.4未満	6	6
1.2以上1.3未満	9	15
1.1以上1.2未満	11	9
1.0以上1.1未満	3	3
1.0未満	0	0
合計	43	44
平均	1.34	1.32



### 【ポイント】

- 令和4年3月末で継続基準の再計算が必要となった基金型確定給付企業年金はありませんでした。
- 令和4年3月末での基金型確定給付企業年金の再計算の要否の積立水準の平均は1.34となり、前年度と比較して、0.02ポイントの増加となりました。

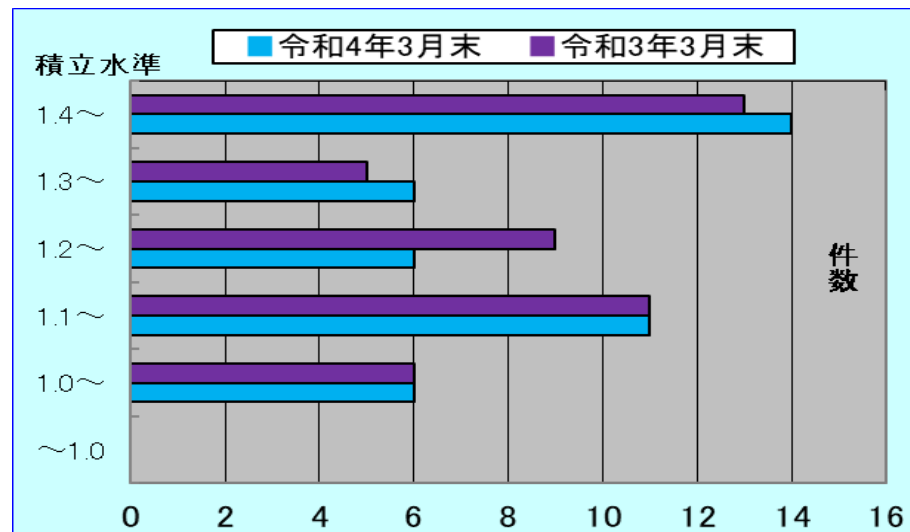
# (ご参考)旧基準の継続基準による財政検証

基金型確定給付企業年金の令和4年3月末の財政決算における旧基準の継続基準(※)による財政検証の結果は以下の通りです。

(※) 旧基準の継続基準の積立水準 = 純資産額 / (通常予測給付現価 - 掛金収入現価 (リスク対応掛金を含む))

(単位：件)

	R4.3末	R3.3末
1.4以上	14	13
1.3以上1.4未満	6	5
1.2以上1.3未満	6	9
1.1以上1.2未満	11	11
1.0以上1.1未満	6	6
1.0未満	0	0
合計	43	44
平均	1.32	1.29



## 【ポイント】

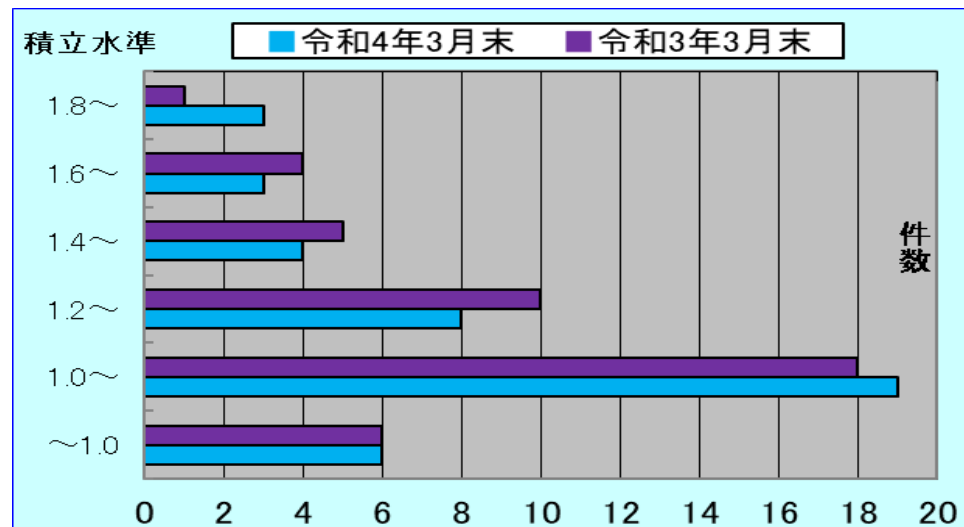
- 新基準を導入している場合、責任準備金の額が年金資産の額に応じて変動するため継続基準の積立水準は変動しづらくなります。より詳細に積立水準の変動を捉えるため、参考として旧基準の積立水準の結果をまとめました。
- 令和4年3月末での基金型確定給付企業年金の旧基準の継続基準の積立水準の平均は1.32となり、前年度と比較して、0.03ポイントの増加となりました。

### 3. 非継続基準による財政検証結果

基金型確定給付企業年金の令和4年3月末の財政決算における財政検証（非継続基準）の結果は以下の通りです。

（単位：件）

	R4.3末	R3.3末
1.8以上	3	1
1.6以上1.8未満	3	4
1.4以上1.6未満	4	5
1.2以上1.4未満	8	10
1.0以上1.2未満	19	18
1.0未満	6	6
合計	43	44
平均	1.25	1.25



#### 【ポイント】

- 積立水準が1.0を下回ることが非継続基準に抵触する判定基準となります。ただし、1.0を下回っても「当事業年度の積立水準が0.9以上」かつ「直前3事業年度のうち2事業年度の積立水準が1.00以上」の場合は非継続基準の財政検証はクリアとなります。
- 令和4年3月末での基金型確定給付企業年金の非継続基準の積立水準の平均は1.25となり、前年度と同水準でした。